

I. 総論

1. コープにとって商品や商品活動の持つ意味

コープにとって商品や商品活動の持つ意味は、主に以下の3点です。

- (1) 商品の提供を通して組合員のふだんの暮らしに貢献すること
- (2) 商品と商品活動を通して、持続可能な食料生産と健康な暮らしへの理解と関心を深めること
- (3) さらにそのことによって、より暮らしやすい社会・環境の実現に貢献すること

コープの基本理念

「人—社会—自然」の調和ある平和な社会の実現に貢献する

— 1988年「共同連帯」C.I計画基本構想 —

2020年ビジョン ～私たちのありたい姿～

人と人をつなぎ、生きるを支える

1. 私たちは一つ一つの行動の積み重ねを通じて「コープがあってよかった」という存在になります。
2. 私たちは安定した剰余を確保し、将来にわたって存在し続けます。
3. 私たちは誇りと自信を持ってコープに集い、コープで働きます。

— 2012年「2020年ビジョン」 —

2. 商品活動

(1) 「コープで扱う商品5つの願い」

① より安全	組合員の健康を支える、より安全で信頼できる品質
② より安く	暮らしを守り、よりよい暮らしのための価格の安さ
③ 環境に配慮	持続的に発展可能な社会のために、環境に配慮した商品
④ 正しい情報、適正表示	商品選択のための適切な情報の提供・適正表示
⑤ 組合員参加	組合員の商品への6つのかかわり（利用する／意見を出す／学習する／普及する／開発・改善する／評価する）の広がり

コープでは、組合員の商品に対する要望を「コープで扱う商品5つの願い」としてまとめてきました。商品に関わる組合員参加の実践が商品活動です。

商品活動では、組合員自身の自主的・自発的な取り組みを大切にします。

- 商品活動は、仲間づくりとともにコープの基礎となる活動です。
商品へかかわる多様な場づくりに努め、情報を大切にします。
- 商品活動は、商品へのかかわりを通して暮らしをより豊かにする活動です。
商品活動を通じて健康な食生活を推進するとともに、「人－社会－自然の調和」を視点とした社会性のある消費がすすむことを大切にします。
- 商品を通じて暮らしのあり方や社会の問題を学び、考え、話し合う活動です。
消費の変化を否定するのではなく、消費者自らが社会の進歩的側面を活かして商品選択のモノサシや価値観を持てるための活動をすすめます。

(2) 商品活動で大切にすること

- ① より多くの組合員参加
様々なくらしや考え方の違いを認め、より多くの組合員参加がすすむことを大切にします。
- ② 正確な情報に基づく科学性の追求
コープは事業を伴う消費者運動であり、「批判するだけ」「評論するだけ」にとどまる運動ではありません。
私たちコープでは、憶測や周囲の対応に影響されることなく、事実に基づく正確な対応や情報提供に努め、過剰反応や誇張表現に注意しなければなりません。もちろん、このことは組合員に対する正しい情報の提供と理解が大切です。
- ③ 商品を通じた社会への積極的な発言
商品が抱えている様々な社会的な問題（安全、価格、環境、福祉、国内産業・農業等）に対し、商品を通してコープの主張を行い組合員に理解を広げます。
- ④ 赤字を出さない、商品提供の経済性の重視
組合員の商品に対する要求は、経済的な裏付けのある事業となっこそ実現されます。経済的な裏付けのない「安全」も「価格」も「環境課題」も持続可能な運動にはならず、しかも広がりもありません。
このことは組合員と職員のお互いが本意を理解しあえるコミュニケーションを大切にすすめることが重要です。

3. 商品供給事業

(1) 商品供給事業の目的

- ① コープはふだんの生活に必要な商品を組合員に提供することで、組合員のくらしに役立ちます。
組合員のニーズはそれぞれです。ふだんのくらしに必要な商品を取り扱わない